

JTrim で作るシンプル合成写真賀状

若い人から写真そのものの年賀状が届くことがありますが、あのレベルの賀状を皆さんも作ってみませんか。しかも、複数の写真を一枚の写真に貼り付ける（合成）技術を使って。印刷には『はがきサイズの写真用紙（光沢）』を必要としますが、写真店に注文する場合と違って1枚から印刷出来ますし、合成写真作成は写真の加工で勉強した JTrim を使うだけです。ワードはがきとは鮮明度・綺麗さが違います。

手数が多いことから一見難しく見えますが、複雑な操作はありません。予習でもこの手順書通り実行することで貴方だけの写真賀状が作れますので是非やってみてください。

JTrim 未入手の方、また、前回 JTrim の勉強をされなかった方はITふたば会のホームページからミニ講習会の教材『写真の加工』の手順書に記載していますのでそちらを参照して下さい。

JTrim は調べてみますと結構面白いことが出来そうです、皆さんの要望があればこれから色んな技を紹介していきますので、報告書にご意見をお書き下さい。

このような賀状を作ります。ワードはがきではありません、写真です。PDFにした関係で解像度が落ちていますが、実物はもっと綺麗なものでプラザで見て戴きます。



1. 準備するもの

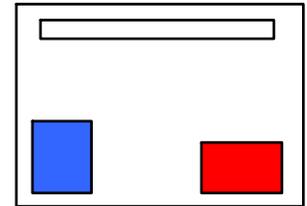
- ◆ 賀状の構想（写真の配置、大きさ、文字の配置をデザインする）
- ◆ 賀状に使う写真。台紙用写真とその上に貼り付ける（合成する）写真。

2. 事前準備 < 縮小写真のサイズを決める >

写真印刷の場合はワードはがきの場合と違い、オリジナルサイズをそのまま使い、印刷段階で印刷用紙のサイズ（今回ははがきサイズ）を指定するだけです。台紙となる写真はインターネットサイズの 640*480 ピクセルでは粒子の粗い写真となってしまいますから 1200*900 以上が良いでしょう。講習会では 1600*1200 の写真を使います。

さて、貼り付ける写真をどの大きさに縮小するかですが、賀状の構想を基に計算して求めます。

右図のようなデザインであった場合、赤い貼り付ける写真の大きさははがき横幅の 1/3 以下より小さく 1/4 より大きいイメージですから $1600 / 3.8 = 421$ 横幅を 420 ピクセルに縮小すれば良いことになります。青のように縦写真の場合であっても比較するのは長辺サイズになりますので同じ計算式になります。



ワードのように貼り付けてからのサイズ変更は出来ませんので、2種類のサイズを準備しておいたほうが良いでしょう。

3. 縮小写真の作成

写真の縮小は写真の加工で勉強した、リサイズの要領で行います。

JTrim を起動（各自がパソコンに取り込んだ JTrim の中のカエルマークです。

（まだCDから取込んでいない人は、パソコンに取込んで下さい）

（講習会ではデスクトップに置いた JTrim の中のカエルマーク）

ファイル[メニュー] 開く 各自の写真のある場所 選択 開く

（講習会ではデスクトップに置いた合成写真素材フォルダから登頂.jpg を選択）

イメージ[メニュー] リサイズ 縦横の比率を保持するにチェックが入っていることを確認 横サイズを 420 にする OK（自習に於いては各自の計算数値を使用）

このままでも使えますが少し手を加えましょう

加工[メニュー] **立体枠を付ける** 枠の太さ（8） 凹へこませるにチェックを入れる

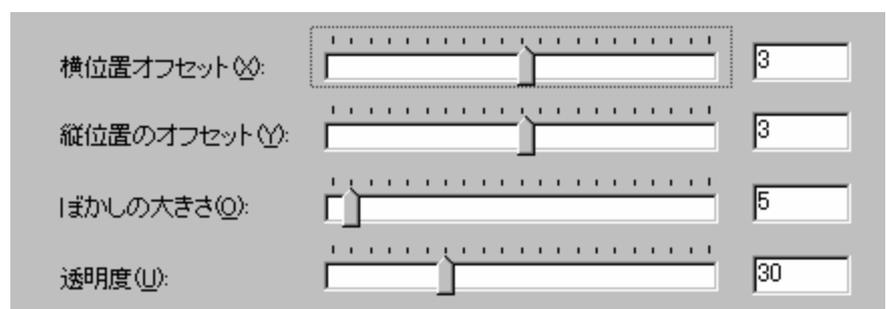


イメージ[メニュー]

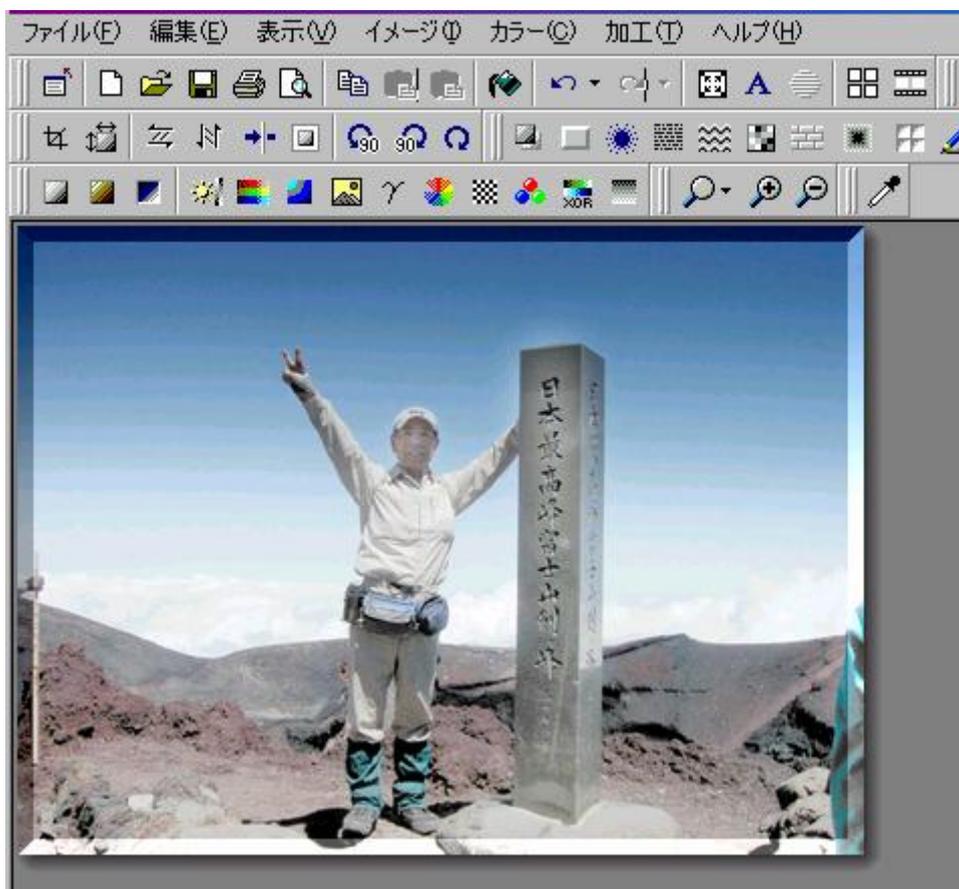
影を付ける

標準設定のまま（上から 3, 3, 5, 30 の数値）

OK



名前を付けて保存 (ファイル[メニュー] 名前を付けて保存 保存場所にデスクトップを選択 任意の名前を付けて保存) (講習会ではデスクトップの合成写真素材フォルダに保存します)



4. 年賀状用イラストの合成用縮小画像準備

年賀状らしさを強調するために小さなイラストを合成しますが、ここからが高度な合成技術の基礎となる範囲になります。手順もさることながらワード感覚とは違いますから頭の整理が必要ですので一つ一つ確認しながら進めて下さい。CDに挿入されているイラストを選んでリサイズしますが、サイズは 1/8 ~ 1/10、ピクセルにすると 200 から 160 ピクセル程度が適当でしょう (好みですが)。

JTrim ファイル[メニュー] 開く CDを入れているドライブ PlazaCD1 (CDによっては PlazaCD2) 平成 18 年年賀状素材 イラスト ill_nen06_kaza03.png 開く

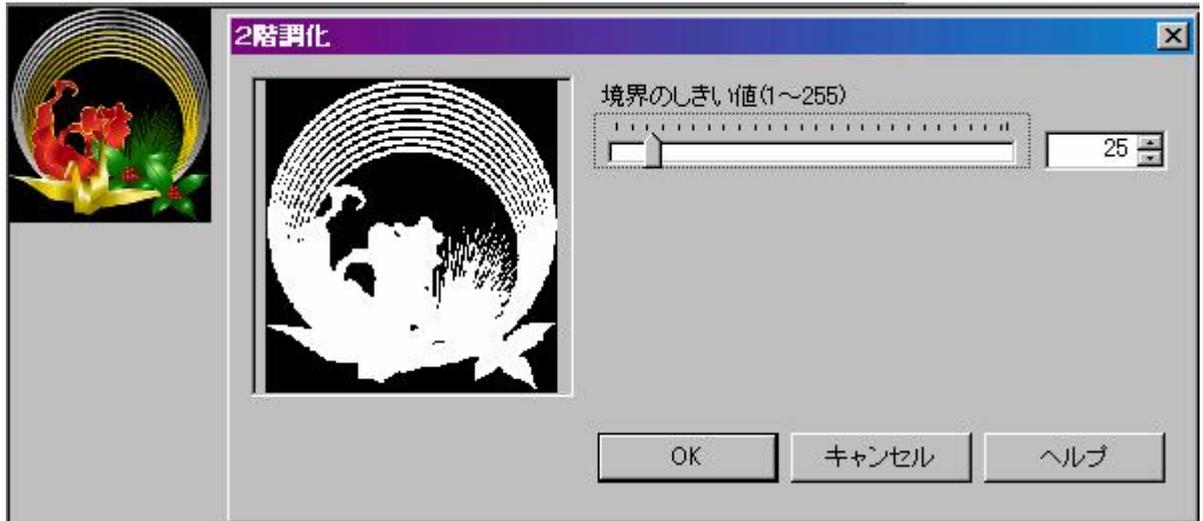
(CD未保有者は http://printsozai.com/main_p.html に繋ぎ、左側のフレームから PNG 素材---お飾りをクリックして、右側に表示されるイラストをダウンロードして下さい)

(講習会ではデスクトップに置いた合成写真素材フォルダから同じイラストを選択します)

イメージ[メニュー] リサイズ 横 200 OK

ファイル[メニュー] 名前(今回は元画像とする)を付けて保存 保存する場所(デスクトップ) 保存 (講習会では合成写真素材フォルダに保存します)

そのままの状態 で カラー[メニュー] **2階調化** **境界のしきい値**を25とする
OK



今回選んだイラストの場合は**境界のしきい値**が25位が適切でしたが、横に表示される白い部分を見ながら設定することになります。

カラー[メニュー] **ネガポジ反転** 名前を付けて保存 (デスクトップに黒画像として保存)



5. 写真の合成

ここは合成と云うより貼付けといったイメージです。

台紙となる写真を開く

ファイル[メニュー] 開く 写真が保存されているフォルダ 選択 開く

(講習会ではデスクトップに置いた合成写真素材フォルダから、[ご来光.jpg](#) を選択)

全体が見えるように表示サイズを変える

ズームアウトを2回クリックする (マイナス印の虫眼鏡マーク)

JTrim 画面を最小化する

縮小した写真を開く (縮小した写真を保存したフォルダを開き、写真を開く。

通常は Microsoft Photo Editor で開かれますが、コピーが出来ればどのソフトでも構わない) 編集[メニュー] 全て選択 編修[メニュー] コピー

JTrim を再表示させる

編集[メニュー] **合成貼付け** 写真を好みの位置へドラッグする 位置確定をクリック (合成貼付けのコマンドはクリップボードに画像が入っている場合にのみアクティブになる。そのために で写真をコピーしている。)

一度、位置確定したものを動かすことは出来ず、移動の必要がある場合は、戻るボタンをクリックすると合成した写真が消えるので、 を再度繰り返す。



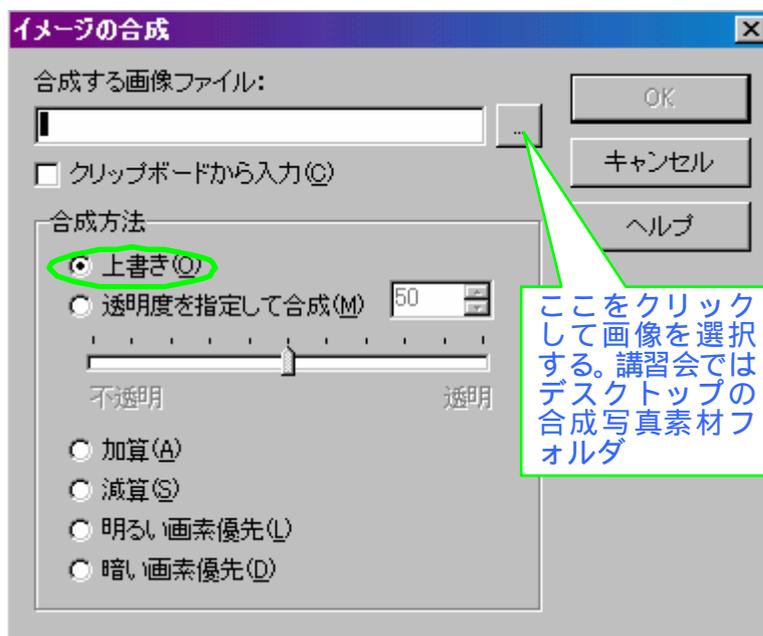
もう一つの合成方法

写真を挿入する位置にマウスをドラッグして四角を描く

編集 [メニュー] 合成 合成する画像ファイルを選ぶ 開く 上書きにチェック OK

この場合は動かすことは出来ません。また、マウスでドラッグした四角が小さいと不足分だけ画像が欠けた状態になります。

この方法によるメリットは、明るい・暗い画素優先でこれが複雑な合成の決め手になります。



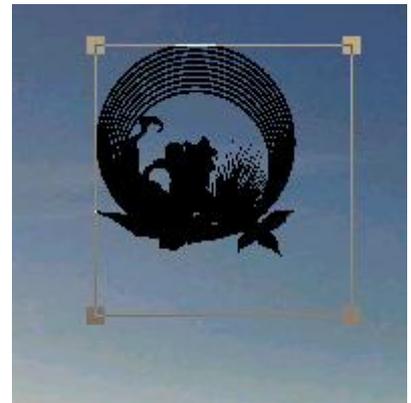
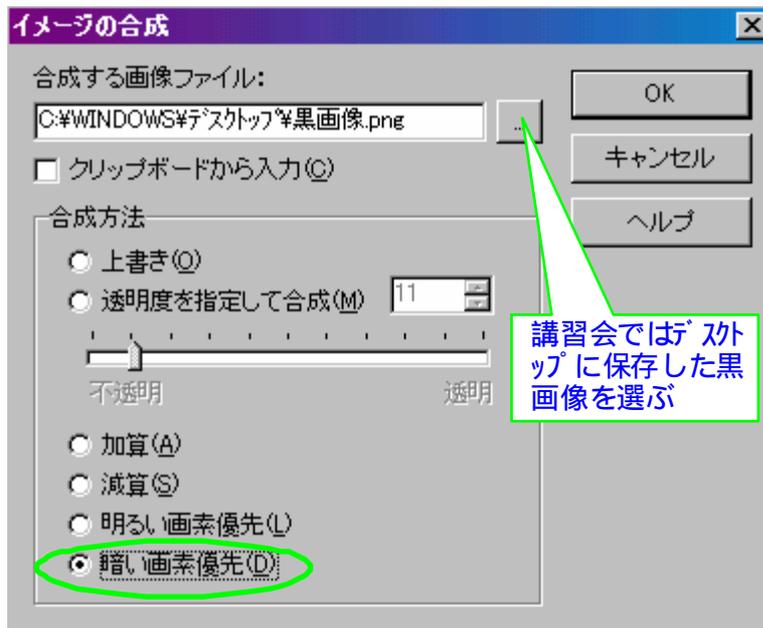
貼付け位置は、上下方向に少し余裕を持たせたほうが良い。理由は、**写真は縦横 4 : 3 の比率であるが、ハガキは 4 : 2.7 の比率**であるために印刷段階で上下方向が少しカットされるためです。

6. イラストの合成

ワードの場合は背景が透明化された素材であればそのまま貼り付けて問題ありませんが、写真合成の場合は前準備を含め多くの手順を必要とします。しかも、JTrim の場合は、台紙側の写真と合成する写真相互の色の濃淡状態によって操作も違い、且つ、上手くいく場合と行かない場合があります。

最初に手順を説明します。

イラストを貼り付ける位置をマウスで四角くドラッグする（四角の左上の角が基準になってイラストが挿入されますから、その意識で位置を決める）
 編集 [メニュー] 合成 4 の で作成したネガポジ反転画像（黒画像）を選ぶ
 合成方法から**暗い画像優先**にチェックを入れる OK



このようになります。
 画面上で空クリックをしないでこの状態のまま次に進みます。

編集 [メニュー] 合成 4 の で作成した元画像を選ぶ 合成方法から**明るい画像優先**にチェックを入れる OK

ここまでの手順を踏んで初めて綺麗に合成することが出来ます。JTrim の場合の合成の基本は、2枚の写真のどちらかの色を優先して表示させるか、になっています。

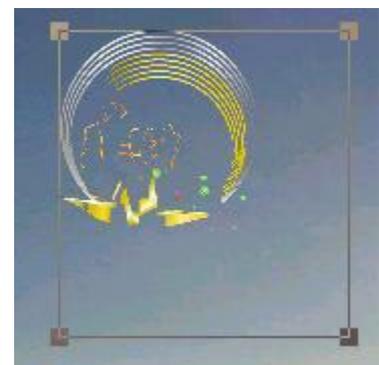
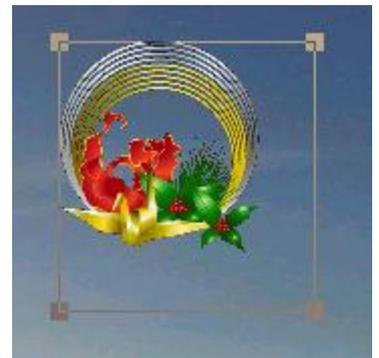
今回の場合、最初にネガポジ写真の背景の白い部分を見えなくするために、暗い色を優先させて、白い背景が写らないようにしました。

次に、縮小した元画像ですが本来は透明化背景であるものが JTrim に貼り付けた場合は真っ黒な背景になることから、その黒い部分が見えなくなる明るい色を優先させて表示させました。

上記の前処理がないと右絵のように背景の色との比較で、背景が明るければ背景の部分（ピクセル単位で）が、絵が明るければ絵の部分が採用されて、まだらな不鮮明な絵になってしまいます。

今回の場合は絵の下にネガポジ写真の真っ黒い部分を作っておいたうえで、明るい色を優先させたことで絵の全ての部分が採用されてオリジナル通りに表示されたものです。（ややこしい解説ですが）

明るさ・暗さを利用する関係上、白っぽいイラスト（白い犬、桜の花） 黒っぽいイラスト（黒い犬）はイラストそのものも一緒に見えなくなってしまうので注意が必要です。



尚、このような処理を省いた場合にどのように表示されるかをテストした結果を下記表に纏めていますので参考にして下さい。

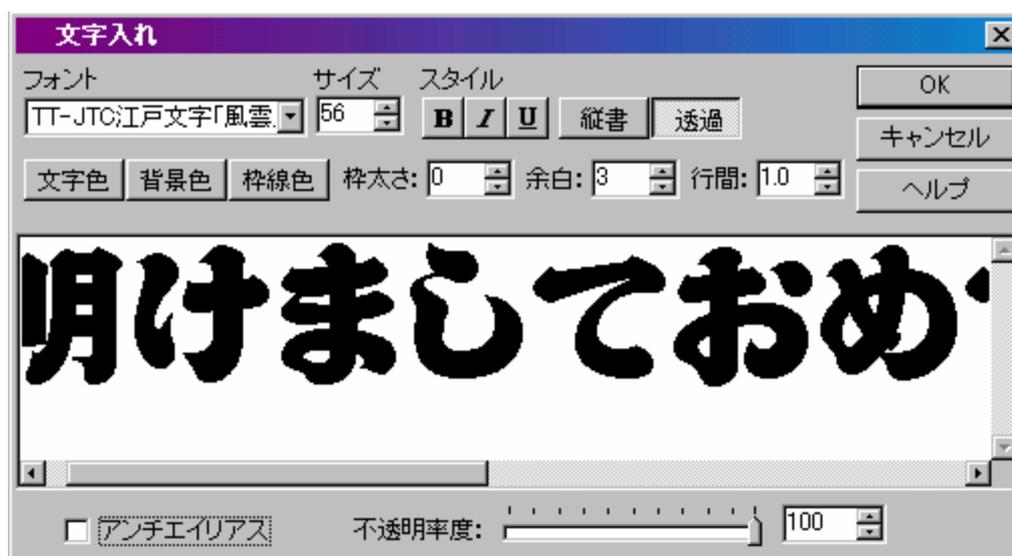
	合成貼付け	合成		
		上書き	加算	減算
PNG	白	黒	透明 + 画像は白っぽく	透明 + 画像は黒っぽく
JPG	白	白	白 + 画像も白っぽく	白 + 画像は黒っぽく

7. 文字を入れる

編集 [F2] 文字入れ

文字入力 フォント任意、サイズ任意、透過ボタンを押す、文字色（背景に合う色、枠太さゼロ

文字の上でクリックして文字列を移動する（下の画面を消さずに行う） OK



これで完成ですから名前を付けて保存します。

8. 印刷

各自の**印刷機のソフトを起動**して印刷して下さい。注意点はサイズははがき、四辺ふちなし、はがきサイズの写真用紙（光沢）を使用することです。

9. 講習会の皆さんへ

勉強終了後はデスクトップに置いてあるフォルダ『合成写真賀状講座』をゴミ箱に入れ、ゴミ箱からも削除しておいて下さい。